

鳥坂寺跡整備検討委員会 会議録

◆第7回会議（2014年10月23日）

時間…14：00～16：00

場所…柏陽庵 2階

1. 開議

2. 委員委嘱と事務局の人事

事務局：委員の任期は2年となっており、平成26年3月31日をもって任期満了となった。委員の皆様には、平成26年5月1日から平成28年3月31日までの2年間、改めてよろしくお願ひしたい。また、引き続き、委員長は大脇委員、副委員長は森委員にお願ひする。事務局の人事報告として、平成26年4月1日より、吉原孝が教育長に就任した。

3. 議事（○…委員からの意見・質疑、▲…事務局の回答）

1) 現状における鳥坂寺跡の活用について

【事務局から説明】

○予算措置についてはどうか。

▲现阶段では、予算については考慮せず、自由に提言していただきたい。

○整備まで時間を要するのであれば、時間をかけないとできないことをすべきである。鳥坂寺跡のシンボルとして、東京国立博物館に展示してある鴟尾がある。それを実物大で再現してはどうか。その製作には、業者に一任するのではなく、市民も参加する。平城宮では、瓦作りなどのイベントがある。鳥坂寺跡では、数種類の鴟尾があり、時期的な変化もわかるよう鴟尾の復元を行ってはどうか。

○鳥坂寺跡に愛着を持ってもらうために、市民参加型のイベントが必要であり、継続的に行えることが重要である。

▲鳥坂寺跡のアピールが必要であり、さまざまな方法を考えたい。鴟尾を実際の粘土での再現になると、実際にはかなりの予算が必要となるので、既に製作されているが、発砲スチロールなどの代替素材を利用する方法や、小形サイズの鴟尾を復元する方法もある。

○周辺や電車などから、鳥坂寺跡の場所がわからない。夜だけになるが、塔跡に照明を使って光の柱を立てるなどはできないか。

○仕掛け花火などはできないか。

▲花火は、安全性の面で様々な規制があり難しい。

○塔跡のある神社の祭りはいつ頃か。

▲天湯川田神社では、夏に祭りを行っている。

○祭りに関連して、河内音頭の歌詞に鳥坂寺を入れるなどできないか。

○「河内六寺音頭」ができれば面白い。市民に歌詞を公募し、最終的にプロに手を入れてもらう方法もある。

○柏原特産のワインのラベルに鴟尾などを使ってもらうことはできないか。

▲今年や来年は、大坂の陣 400 年で盛り上がっているため、すぐには難しいが、企画画として面白い。河内六寺を銘柄にして、シリーズ化するなどの売り込みが可能かもしれない。

○柏原市のマスコットキャラはいるのか。

▲「グレーピーちゃん」が市の公式キャラクターだが、昨年、商工会が作った「かしびょん」がいる。歴史資料館では、線刻壁画を基にしたキャラクターや、職業体験で中学生が作った鴟尾をモチーフにしたキャラクターなどがある。

○柏原の土産やお菓子で有名なものはあるのか。

▲ぶどう最中や、瓦をイメージした最中などがあるが、知名度はあまり高くない。「かしわらもん」として、商工会が中心となって特産品を紹介するイベントがあるが、各店が独自に売り出しをしており、そこに鳥坂寺跡を売り込むのは難しい。

2) 鳥坂寺跡の保存管理計画について

【事務局から説明】

○作業部会などでどういった内容を検討するのか。

▲具体的には、道路、水路、公園などの担当課にも意見を聞き、実効性のある保存管理計画に向けた議論をする。

○遺跡の価値を他部局に説明するためにも、地区区分がされている地区ごとの重要性、位置づけを明確に記載した方が良い。それを踏まえて、公有化が第一に必要であり、整備することで活用が図られるという共通理解の上で議論する必要がある。また、D地区は、史跡指定地以外の「周知の埋蔵文化財包蔵地」に

あたるが、史跡を保存するにあたって必要な地区であり、他の包蔵地とは異なる点を明記すべき。

- 史跡周辺の環境保全の項目があるが、都市計画上の将来的なリスクについても他部局との意見を交わし、具体的な保全策を記載する必要がある。
- 鳥坂寺跡周辺の住宅地の状況はどうなっているのか。
- ▲周辺は、谷川以南の江戸時代から続く住宅地、塔跡の北側の昭和40年代頃の住宅地、東側の昭和から平成にかけての住宅地に大別でき、自治会もそれぞれにある。
- 史跡に関連する場所での下水道工事の予定はないのか。
- ▲予定はない。

3) その他

- 計画案の文章中のカギ括弧の有無や、表記の統一などもう一度見直してほしい。
- 河内六寺推定地の現状を把握するために、現地を巡りたい。最北の三宅寺の位置については議論が分かれており、河内六寺、ひいては鳥坂寺について、一般の方を巻き込んで盛り上げて欲しい。
- 講堂の須弥壇、扉の金具なども、将来の整備に向けてデータを蓄積する必要がある。また、塔跡の心礎を何らかの形で展示できないか。

4. その他

事務局：保存管理計画については、作業部会などを設置して、文化庁、大阪府教育委員会とも協議しながら、具体的に進めていきたい。

5. 閉議